

2025 フクシマキャラバン報告書

全港湾東北地方小名浜支部 松村海斗

福島原発事故から14年が経ち福島の間人としてまづ感じるこが、風化してきてるこです。このこは全国から来た仲間も同意見で、福島はもう復興してるものだと思っていたという声が多数でした。テレビやメディアではいかにも復興してるよに見せてるこが最大の影だと思ひます。14年経つと事故当時残ってる建物も少なくなってきたのが現状です。福島の人間として今後どう伝えていくかが大事になると感じました。

今後、大事になっていくのはキャラバンに参加した人が震災の悲惨さや原発事故の悲惨、原発事故は終わっていない、復興はしてないこを地元に帰ったときに仕事の仲間や家族、友人に伝えていくこが大事だと思ひますし、原発事故を知らない子供たちに伝えていくこも必要だと思ひます。

今回、フクシマ連隊キャラバンの団長を務め、不安もありましたがキャラバン隊の仲間達が支えてくれたので団長という大役を最後までやり遂げることができました。

来年のキャラバンも東北が中心となり、全国の仲間に原発事故の恐ろしさを再認識してもらい反原発という声を上げていきたいと思ひました。